

1.技 術	4.1 造水シンポジウム・講演会
2.事 業 名	4.1.22 国内外への造水関連技術の普及促進活動(H29)
3.キーワード	膜技術、標準化、上水道、下水処理、工業用水、微生物
4.目的	近年、世界的に水不足、水質の悪化などの水に関する問題が発生している。そこでこれらの課題に対して、これまでに本財団が蓄積してきた各種の造水技術に関する情報発信を行い、普及・促進することにより日本の企業の海外への水ビジネス展開に寄与することを目的としている。
5.内容、成果	<p>平成 29 年度は、下記の事業を実施した。</p> <p>(1)英語版及び日本語版造水技術データベースの修正、追加を継続して行っている。</p> <p>(2)国内、海外の水関連国際会議、展示会、シンポジウム等に積極的に参加して造水技術に関する普及促進を行った。</p> <p>(3)日本の造水技術を紹介するため、国内外に職員等を派遣して、講演等を通じて、水に関する情報収集を行い、造水技術の普及促進を図った。</p> <p>(4)造水シンポジウム 2017 を平成 30 年 2 月 6 日(火)に開催し、約 110 名の参加者があり成功裏に終了した。</p> <p>◇テーマ：水ビジネスを取りまく最新動向と造水技術の現状</p> <p>◇主 催：一般財団法人造水促進センター</p> <p>◇後 援：経済産業省、一般社団法人日本工業用水協会、特定非営利活動法人日本オゾン協会、日本脱塩協会、日本液体清澄化技術工業会、一般社団法人膜分離技術振興協会、日本膜学会、公益社団法人日本水環境学会、日本水道新聞社、水道産業新聞社</p> <p>◇日 時：平成 30 年 2 月 6 日(火)9：50～16：00</p> <p>◇場 所：「主婦会館プラザエフ」地下 2 階「クラルテ」</p> <p>◇参加者：110 名</p> <p>◇講 演：</p> <p>「造水関連における ISO 標準化の最新動向」 一般財団法人造水促進センター専務理事 大熊 那夫紀</p> <p>● 「工業用水道事業における PPP/PFI の推進について」 経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ地域産業基盤整備課工業用水道計画官 佐々木 忠則</p> <p>● 「下水道への ICT/IoT 利活用について」 地方共同法人日本下水道事業団技術戦略部上席調査役兼技術開発企画課長 橋本 敏一</p> <p>● 「社会インフラ<水道分野>における CPS/IoT 活用について」 水 ing 株式会社社長室シニアアドバイザー 富岡 透</p> <p>● 「微生物による水質浄化・産業分野でのバイオフィルム制御」 東京農工大学大学院工学研究院応用化学部門 兼工学部化学システム工学科応用化学専攻教授 寺田 昭彦</p> <p>● 「下水処理場の資源・エネルギーを活用し植物を栽培する実証実験」 長岡技術科学大学大学院工学研究科技術科学イノベーション専攻環境学講座准教授 姫野 修司</p>
6.参照	本財団の自主事業